

崎方面には非常に被害が少ない。これは南よりの強風は富津方面の内陸部の高地に遮断されたためである。

(7) 京葉工業地帯の市川、船橋、習志野、千葉各市の海岸はいつでも南に開けており、南寄の強風は東京湾の塩分を十分に移送し、塩害が頻発した。

この方面は強風で充分塩分を付着させた碍子が、塩害を起こそうとしたとき雨が止み、湿度が低下したため水分の補給が困難になり、台風当日には余り発生していないのが特長である。

(8) 東葛飾郡、柏市方面は東京湾を渡って来た南寄の強風のため内陸深く(20~30Km)まで充分な塩分を輸送し、塩害を多発せしめている(従来この方面は塩害のない地域とされており、塩害防止対策は全然実施していない)。

(9) 中央の高さ30~50m台地には殆んど塩害は起こっていない。これは南寄の風のため、南部の高さ300mの山群による風の遮断と、北部太平洋側においては断崖のためである。

(10) 海岸より深く食込んだ谷間は、この谷にそって細長い地域に塩害を起こしている。特に風向に平行に開けた谷間では奥地にまで及んでいる。又風向に平行でなくとも、風が収束する処では多く発生している。

8. 結 び

千葉県の配電線の塩害事故と第二室戸台風による塩害事故を調査した結果次のことが明らかになった。

1. 塩害事故は千葉県においては主要な停電事故の1つである。
2. 塩害を起こすには塩分を運ぶ強風と塩分を溶解す

る水分の補給とが必要である。

3. 特に大災害を起こすためには長時間の強風と少雨を必要とする。

4. 第二室戸台風の塩害による災害は全国的で大規模であったが、本県においても未曾有のことである。

5. 塩害事故は、地形効果のため大きな差を生じている。また、このことより50m以下の下層の大気中に含まれている塩分が塩害事故に重要な役割をはたしていると推測される。

6. 塩害防止器材を使用している場所では、災害がかなり軽減されている。このことからみても、耐塩防止対策は重要な問題である。

終りに、本調査に対し快く資料を提供され、ご教示をいただいた東京電力千葉支店・銚子営業所・銚子変電所終始ご指導いただいた武石台長をはじめ銚子地方気象台防災業務課の皆様、東京管区気象台正務調査課長に深く感謝の意を表わす。

参 考 文 献

- 1) 菊地繁雄・永山盛善(1958): 北九州における1956年末より1957年初頭に至る連続した送電線塩害事故の気象学的調査, 研究時報, **9**, 785~791.
- 2) 下関地方気象台(1957): 九州および山口県における塩害と塩嵐について, 研究時報, **10**, 685~694.
- 3) 下関地方気象台(1958): 同上(第2報), 研究時報, **10**, 877~878.
- 4) 東京電力千葉火力超高压塩害対策打合せ(1957): 千葉火力超高压系の塩害対策に関する調査.

日中友好学術代表団来日についての募金活動について

日本気象学会 国際学術交流委員会

われわれの長い間の懸案であった中国から気象学者を招待する件について、日中友好協会の積極的な尽力により、11月一杯の予定で、数名の社会学者と、気象学者、物理学者各1名の来日が予定されております。

そのさい、気象部門の学者に対する費用は気象関係者で工面することが強く要望されております。

このため日本気象学会国際学術交流委員会は次の要領で募金活動を行なっていますので、会員諸氏のご協力をぜひにおねがい致します次第です。

目 的: 来日する中国気象学者滞在中の諸経費に充当する。

目 標 額: 20万円

目標達成期日: 10月31日

募 金 方 法: 一口100円

以上のような次第ですから、ご協力をよろしく願います。

(とじ込みの申し込み葉書にご記入の上ご返送下さい)